

# 【宮城の1コマ】地区を代表する景観構成要素

## ふるさと自慢

〔住む人の声〕

### 歴史

三夜沢の赤城神社や参道松並木、たわら杉など歴史的に重要な建造物、樹木がある

### 赤城山麓

赤城山観光のルート、温泉郷への入口  
住民から募集した赤城山を描く絵画・画集による地域のつながり

### 街

牧歌的な雰囲気にもまれた集落



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出

## 現況図



## 地区の課題

### 景観にかかる課題 1

山林が地区の約半分の面積を占め、緩やかな裾野が急傾斜する標高 600m付近からクヌギ・コナラなどの雑木林とマツ・スギ・ヒノキの山林に覆われ、多様な生物を育てている。また奥深い山々を背景にして、緩斜面地には田園風景の中に牧歌的な雰囲気をもつ集落が分散しており、将来的にも、赤城南麓の環境が継承されていく取り組みが必要である。

### 景観にかかる課題 2

荒砥川を軸として、赤城温泉郷、赤城神社、赤城南面千本桜、赤城高原牧場クローネンベルク、赤城神社参道松並木とツツジ群、ぐんまフラワーパーク、総合運動公園、天神山自然公園といった観光資源が多く立地するが、景観的なまとまりに欠ける。

### 景観にかかる課題 3

縄文時代遺跡から、阿久沢家住宅、赤城神社や金剛寺周辺の指定文化財、多様性に富んだ石造物など多くの歴史的資源が残されているが、地域で継承されるべき文化としての認識が十分でない。

### 景観にかかる課題 4

三夜沢赤城神社は、全国の赤城神社の総本山であり、赤城山信仰の中心的存在となっており、参道を含む境内地は、赤城信仰の聖地として保全していく必要がある。

### 体制にかかる課題 1

住民から募集した赤城山を描く絵画・画集による地域のつながりや花づくりなど、地域住民活動をより活性化させていく必要がある。



**拓く**

別荘地  
中央電力研究所の取組み

**香り**

こやしのにおい  
クローネンベルク南の花桃の香り

**風の軸**

赤城から吹きおろす北の風  
田園からの暖かい南風

**眺望**

東京まで見える夜景  
季節毎に姿を変える浅間山の風景  
(夕焼けにより山の姿形が浮かび上がる。)  
カントリーエレベーターの屋上から見る風景は宮城を代表する景色である

**街道**

花づくり街道(元気いっぱい花いっぱい運動)  
芙蓉街道

**地場産業**

トウモロコシ、畜産

→ **地区の方針**

**景観形成方針 1**

赤城南麓に広がる保安林を除く山林においては、民有林の分譲による別荘地開発などの際にも、良好な土地利用と適正な維持管理がなされるよう配慮する。

**景観形成方針 2**

関東平野を見渡すことのできる眺望を守る。また地区南西部に連なる山々の眺めを守る。

**景観形成方針 3**

緩斜面地においては、無秩序な開発の規制、農業と観光の連携により、現在の牧歌的な農村景観を守る。

**景観形成方針 4**

荒砥川を軸とした修景を行い、観光資源に空間的なつながりを持たせる。

**景観形成方針 5**

点在する歴史的資源は、石仏を初めとして多様性と独自性に富んでおり、これらが口伝とともに地域文化継承のきっかけとなるよう、保全活動に取り組む。

**景観形成方針 6**

国道 353 号、(主)大胡赤城線、(県)上神梅大胡線、(県)三夜沢国定停車場線などの道路の沿道は、周辺環境となじむよう、建物や広告看板類の誘導に取り組む。

**景観形成方針 7**

参道を含む三夜沢赤城神社境内地は、法的な位置づけを行い、景観面における適切な規制誘導に取り組む。

**体制整備方針 1**

花づくり街道などにおける、景観づくりに寄与する地域住民活動への柔軟な支援体制を整える。

**体制整備方針 2**

(財)電力中央研究所など、企業による地域活性化や地場産業振興の取り組みなどを今後も奨励していく。

**体感・体験図〔住む人の目〕**

